

第6回 臂曲岩石採取事業監理委員会 会議録（要点筆記）

日時 平成27年12月2日 9:59~10:42

場所 遊佐町役場 議事所

出席 委員 那須純一（代理出席）、小野廣好、斎藤拓男、佐藤良一、河野武男、
佐々木久吉、渋谷三博、佐藤一之、小野寺正博、石原春雄、尾形長輝
(11)

川越工業：川越恵次社長、川越康平常務、高橋吉広営業部長、
神坂智行営業課長、菊池真治代理人、(株)大東開発・白土玄悦社長
(6)

山形県：産業政策課：長岡寿行鉱政・計量主幹、笠原洋一鉱政専門員、
庄司平主事

庄内総合支庁産業経済企画課：斎藤貴課長、太田博之課長補佐、
鳥海裕子主査 (6)

遊佐町：本宮茂樹副町長、池田与四也企画課長、畠中良一地域生活課長補佐、
高橋善之課長補佐兼係長、高橋英里主事 (5)

合計 28人 傍聴：0人 報道：1社

1. 開会

2. あいさつ

遊佐町：委員の皆様をはじめ、県ご当局、川越工業株式会社様、ご多忙のところご出席をいただき感謝申し上げます。本日は今年度の搬出量、来年度の事業計画について説明をいただく。皆様方からの活発なるご協議をいただき、監理委員会としての機能を有意義なものにして参りたい。よろしくお願いを申し上げ、挨拶に代えさせていただきます。

山形県：日頃より、採石法などに基づき行われておる本県の鉱石行政についてご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。臂曲地区における岩石採取については、認可された岩石採取計画を遵守しながら進めていただいているが、対応が必要なものについては、この委員会の中で建設的な意見をいただき問題解決が図られることを期待している。簡単ではあるが、会議に先立ってのご挨拶とさせていただきます。

川越工業：委員会の皆さんからご出席いただき心から御礼を申し上げます。この監理委員会が意義あるものとなるようお願いし、簡単ではあるが挨拶に代えさせていただきます。

3. 協議

委員長：それでは、3の協議の方、進めさせていただきます。(1)の搬出量の確認について川越さんの方からご説明をお願いします。

(1) 搬出量の確認について

川越工業：資料1については昨年26年3月から27年2月まで報告済みということで

省略させていただく。資料2については第5回の委員会で6月までの数字は発表してあるので7月以降の数字を報告させていただく。7月稼働日数が30日、②の岩石7,108 m³、トン換算で17,770 t、④の臂曲の山から場外への搬出量だが7,108 m³、トン換算で17,770 t、風化岩に関してはゼロ。続いて8月稼働日数が24日、岩石採取量5,504 m³、トン換算で13,760 t、場外搬出量5,375 m³、トン換算で13,438 t、風化岩についてはゼロ。9月稼働日数23日、岩石採取量3,492 m³、トン換算で8,730 t、場外搬出量3,150 m³、トン換算で7,875 t、風化岩はゼロ。10月稼働日数23日、岩石採取量2,437 m³、トン換算で6,093 t、場外搬出量2,400 m³、トン換算で6,000 t、風化岩についてはゼロ。トータルで稼働日数473日、岩石の採取量が91,126 m³、トン換算で227,815 t、場外搬出量59,661 m³、トン換算149,153 t、風化岩の合計は1,706 m³、トン換算で2,578 t。以上。

委員長：皆さんからご質問ご意見等お出しいただきたい。特になら先に進ませさせていただくが、後で資料をご覧になってからもう一度確認をしたいということがあれば戻っていただいても構わないのでよろしくお願ひしたい。それでは(2)の来年度の事業計画について、説明をお願いします。

(2) 来年度の事業計画について

川越工業：来年度の事業計画については、現在認可された採取計画に則り引き続き岩石採取を行っていきたい。今年度の春にも行ったが来春も植林の計画はある。時期は3月後半から4月としているが、何分雪が多いところなので雪の状況を見ながら植林は進めていきたい。

委員長：この件について皆様からご意見、ご質問を受けたい。今年度の状況を見たときに大体どのくらいの時期に植栽をする見通しか。

川越工業：4月の中旬くらいからは植林に手をかけていきたい。

委員長：おおよその面積についてはまだ把握されてないか。

川越工業：来春植林前に面積を拾って、次回の委員会にでも報告したい。

委員長：よろしくお願ひする。その他皆さんからご意見ないようであれば続いて(3)山形県それから遊佐町の方から報告、説明をさせていただきたい。まず最初に山形県からお願ひしたい。

(3) 山形県及び遊佐町の方から報告

山形県：庄内総合支庁で行っている巡回監視の状況について報告する。巡回監視については週1回、巡回監視員が行っている。今年度の4月1日から11月30日までの8カ月間の巡回監視の実施状況だが、回数にして29回行った。その他に立入検査1回、それから現場の視察1回ということで合計31回現場の方を見させていただいた。巡回監視する場合の視点だが、濁水の状況があるかどうか、それから沈殿池の状況がどうかということ、それから採取区域が計画通り守られているかどうか、それから遊佐町との協定で定められてある標高320mまで、掘削の深さが守られているかどうか、それから採掘が終わった場所から順次緑化をしているかどうか、こういった点について監視を行っている。それで今年度の監視の結果であるが、今年度は幸い大

雨や災害がなかったことから場外に濁水が流れたというようなことは確認していない。それから6月に沈殿池を浚渫していただいたが、場外に濁水が流れないように措置されていた。それから採掘区域、採掘の深さについては計画通り遵守されていた。緑化については前回の監理委員会の時にご覧いただいた通り、採掘が終わって法面成形されているところから緑化が行われているという結果である。

委員長：それでは続いて遊佐町の方から。

遊佐町：次第資料の一番後ろの方に遊佐町で確認作業を行った表をつけてある。3月18日に沈殿池を2か所、新たに設置していただいた。その時の立ち会い、それから林道と採取地の間に素掘りの側溝を作っていただいて、その確認。側溝そのものは林道がそんなに広いわけではないが今の現状ではかなり広がっている。なので側溝そのものは採取地の中にあり、つまり会社の土地につくっていただいているということである。3月と4月13日については一人、又は二人で出向いており道路の点検、計測まではできず、あくまでも目視の確認だけということで道路確認をさせていただいた。毎月一回定期で道路の点検をするようにしているが、その際には現場への立ち入りもさせていただき沈殿池の状況、それから植栽の杉の苗木の育成状況、それから場合によっては高さ320mのところよりも低いところの作業、掘削が無いかというところを毎回確認している。A地点というのが喫茶店のところからちょうど白井のT字路までのかなり長い直線があるが、ちょうど真ん中あたりで折れ曲がっているが、その折り曲がり喫茶店とのちょうど中間地点がA地点。B地点というのが折り曲がりの道路と交差しているところ。C地点というのが折れ曲がったところから上の白井のT字路のちょうど中間あたり。ABCとも道路わきのプラスチックの棒のところにピンクのテープを巻いてあるので、そこを通った時にご確認いただきたい。あとD地点については白井のところのT字路のところ。そこがやはり直角になっていて、だいぶ車の負担がかかって傷みやすいところ。それからE地点については町道から林道に上がる場所。そこもだいぶ傷みやすい場所である。DEについては道路のワダチというよりも、カーブでタイヤがちょうど直角に曲がる場所なので、路面の傷み具合を目視で確認させていただいている。ABCとも下り車線、岩石を積んで重くなっている状態で走っている箇所を計測している。6月30日のベンチ確認は、2m切って10m傾斜がつくわけだが、その形成状況を確認している。それから7月27日の320mの地点確認については遊佐町の方でGPSで高度が表示できる機械を持っており、奥の方が一部深く掘られていたためその標高が320mを下回っていないかということを確認している。奥の方もだいぶ深く掘られているように見えるが、320mには至っていないということを7月の27日は確認させていただいた。それから10月30日この日はあまり天候が良くなかったが、雨が若干降ったあとの状況。付近住民の方の貯水池がよく濁るということを知っていたので、状況を確認させていただいたが、この時は濁り水が流入してはおらなかった。それから林道に上がる場所の町道の部分については若干の傷みがあり、通行には支障ないため、早急な補修というよりも来春に林道等が補修される場合は、そこも

いっしょにお願いしたいということで会社へ申し入れした。町の方からは以上。

委員長：ただいま県、町の方でそれぞれ確認をしている報告をいただいた。皆様からご意見、ご質問等あればお願いしたい。

委員：会議の持ち方について。今日の会議もそうだが、できれば午後から、場合によっては夜に開催できればお願いしたい。それからダンプの件だが、中村から袋地まで下がるところで上ってくる車がない時はスピードが出ている気がする。もう少し徐行しながら走ってほしい。

委員長：二点ほどご意見をいただいた。最初の一点目会議の開催時間等について。

遊佐町：会議の開催時間帯のことであるが、極力関係する皆様が参加しやすい時間ということで、この日中の午後であったり午前中であったりということで設定させていただいている。もし皆様が夜の方がいいということであれば対応させていただくが、やはり夜は夜で都合が悪い方もおられて、参加が悪くなることも考えられるので、次の開催に向けて、あるいは来年度の開催に向けてそのへんは改めてご意向を確認したうえで時間帯を決めさせていただきたい。

委員長：二点目に入ります前に、只今のことについてご意見、ご要望ございましたらお出しただければ。

委員：委員会の集まりの時間帯ですが、午前中だと仕事の関係でなかなか出られない。

今日も他の人に頼んできた。午後とか夜とかなれば出る回数も増える。

委員長：午後の場合は1時半とか3時頃からとか4時頃からといろいろあると思うが、現地の確認をお願いしたいという場合はどうしても日中の明るいうちからということも想定されるわけで、そのへんも考えながらということでもよろしいか。また全体的に夜の方が都合がいいということであれば夜の開催もあるが、只今いただいたご意見をもとに次回まで調整をさせていただくということをお願いしたい。続いてダンプ自動車の運行の関係について会社の方からコメントをいただきたい。

川越工業：ダンプの件については、大変ご迷惑をおかけし誠に申し訳ない。会社に戻り運転手にスピードなり、第三者の車両を優先にということで再度指導していきたい。

委員長：よろしく願います。なお委員の皆さんからも普段お気づきの点があれば、その時点で町の担当の方にご連絡いただきたい。会社の方に連絡して、対応をお願いさせていただく。その他ないか。今年はいじめて植栽をしたわけだが、根付きと云うか成長の状況はどんなものか。

川越工業：今年度春から植栽したが、場所によってやはり一部枯れている杉の苗があった。前回の監理委員会でも申し上げたが、これについては再度植え替えるということで会社の方で計画している。今年度採掘が終わって、法面成形が終わった箇所については同じ方法で植林を行うことにしている。現場は、ご覧いただいたようにかなり長い法面になっており、安全にも配慮したうえで作業しなければならない。何分天候等に左右されるわけだが、雪解けの状況を見ながら来年度も同じ方法で植林をするというのが基本的な考えである。

委員町長：よろしく願います。その他皆さんから何かないか。ないようであれば次の（４）その他の方に入らせていただく。それでは次回監理委員会等について説明をお願いします。

（４）その他

事務局：次回については3月の22日以降ということで調整させていただきたい。町の議会が3月15日まで、県議会も3月18日頃までという情報をいただいているので、3月22日以降でないと町も県の方も対応できないようである。ただその前であっても雪が少なければ現場の方、バックフォー等の掘削もしくはストックの作業が始まるかと思われる。搬出については監理委員会の前にもし行いたいという場合は、町の方に情報をいただき県と連絡をとり確認をさせていただきたい。

委員長：それでは会議の方、以上で閉じさせていただく。事務局の方にお返しする。

4. 閉会

事務局：これをもって第6回臂曲岩石採取事業監理委員会を閉じさせていただく。